

第37期

計 算 書 類

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

1. 貸借対照表
2. 損益計算書
3. 株主資本等変動計算書
4. 個別注記表
5. 附属明細書

J S R エンジニアリング株式会社

貸借対照表

JSRエンジニアリング（株）

2020年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
(流動資産)	(12,870,462,709)	(流動負債)	(12,159,923,396)
現金預金	33,684,521	短期借入金	2,908,000,000
完成工事未収入金	8,690,897,632	工事未払金	8,926,858,373
未成工事支出金	4,032,992,470	未払金	29,817,422
材料貯蔵品	10,704,800	未払費用	103,553,340
前払費用	8,165,399	未払賞与	166,648,000
未収入金	9,212,352	預り金	4,496,605
未収消費税等	82,717,800	未払法人税等	13,538,656
仮払金	2,252,735	完成工事補償引当金	7,011,000
貸倒引当金	△ 165,000		
(固定資産)	(161,030,799)	(固定負債)	(60,762,000)
(有形固定資産)	(56,756,687)	退職給付引当金	60,762,000
建物	7,876,757		
構築物	4,741,041		
機械装置	12,301,385		
車両運搬具	11		
工具器具備品	31,837,493	負債合計	12,220,685,396
(無形固定資産)	(7,174,323)	純資産の部	
電話加入権	1,659,500	(株主資本)	(810,808,112)
ソフトウェア	5,514,823	資本金	180,000,000
		利益剰余金	630,808,112
		利益準備金	45,000,000
(投資その他の資産)	(97,099,789)	その他利益剰余金	585,808,112
繰延税金資産	97,099,789	繰越利益剰余金	585,808,112
		純資産合計	810,808,112
資産合計	13,031,493,508	負債及び純資産合計	13,031,493,508

損 益 計 算 書

JSRエンジニアリング (株)

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

(単位：円)

項 目	金 額	
売 上 高		20,482,259,266
売 上 原 価		19,792,377,265
売 上 総 利 益		689,882,001
販売費及び一般管理費		414,402,918
営 業 利 益		275,479,083
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	163	
雑 収 入	14,664,559	14,664,722
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	15,062,378	
固定資産廃棄損	41,657	
雑 支 出	36	15,104,071
経 常 利 益		275,039,734
税引前当期純利益		275,039,734
法人税、住民税及び事業税		85,417,124
法人税等調整額		△ 2,017,124
当 期 純 利 益		191,639,734

株主資本等変動計算書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月 31日

(JSRエンジニアリング株式会社)

単位:円

	株主資本					純資産 合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計	
		利益 準備金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	180,000,000	45,000,000	635,735,578	680,735,578	860,735,578	860,735,578
当期期変動額						
剰余金の配当			-241,567,200	-241,567,200	-241,567,200	-241,567,200
当期純利益			191,639,734	191,639,734	191,639,734	191,639,734
当期変動額合計			-49,927,466	-49,927,466	-49,927,466	-49,927,466
当期末残高	180,000,000	45,000,000	585,808,112	630,808,112	810,808,112	810,808,112

個 別 注 記 表

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 棚卸資産の評価方法 最終仕入原価法によっております。

2. 固定資産の減価償却方法
 - ・有形固定資産 定額法によっております。

 - ・無形固定資産 定額法によっております。
尚、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準
 - ・貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。

 - ・完成工事補償引当金 請負工事にかかる目的物の欠陥による無償補修に備えるために、過去の補償工事の実績割合に基づき計上しております。

 - ・退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理については、税抜処理によっております。

5. 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

1. 当期末における発行済株式の数 普通株式 3,600株

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (円)	1株当りの 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月18日 定時株主総会	普通株式	241,567,200	67,102	2019年3月31日	2019年6月28日

- (2) 2020年6月17日の株主総会において、次のとおり決議を予定しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	191,638,800円
配当原資	利益剰余金
1株当たりの金額	53,233円
基準日	2020年3月31日
効力発効日	2020年6月30日

計算書類の附属明細書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

1. 有形固定資産および無形固定資産の明細								
(単位:千円)								
資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末取得原価	
有形 固定 資産	建 物	8,677	682	0	1,482	7,877	104,189	112,066
	構 築 物	3,596	1,348	-	203	4,741	20,119	24,860
	機械装置	16,670	-	-	4,368	12,301	346,326	358,627
	車両運搬具	0	-	-	-	0	18,323	18,323
	工具器具備品	19,413	19,072	42	6,606	31,837	146,851	178,688
	建設仮勘定	4,540	18,617	23,157	-	0	-	-
計	52,896	39,719	23,199	12,659	56,757	635,807	692,564	
無形 固定 資産	電話加入権	1,660	-	-	-	1,660	-	1,660
	ソフトウェア	14,958	1,103	-	10,546	5,515	291,795	297,310
	計	16,618	1,103	0	10,546	7,174	291,795	298,969

主な増加内訳	工具器具備品	安全弁自動検査システム	13,589千円
	工具器具備品	空調機更新	2,714千円

2. 引当金の明細					
(単位:千円)					
科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
一般債権に対する貸倒引当金	74	165		74	165
完成工事に対する補償引当金	8,225	442	1,656		7,011
退職給付引当金	42,581	36,181		18,000	60,762
合 計	50,880	36,788	1,656	18,074	67,938

①貸倒引当金の当期減少額のうち、洗いや替えによるものです。
②退職給付引当金の当期減少額のうち、グループ企業年金基金の掛金です。

3. 販売費及び一般管理費の明細			
(単位:千円)			
科 目	金 額	摘 要	
役 員 報 酬	15,707		
給 与 及 び 手 当	171,389		
退 職 金	14,095		
法 定 福 利 費	29,426		
福 利 厚 生 費	14,399		
貸 借 料	6,283		
修 繕 費	4,437		
消 耗 品 費	23,757		
外 注 作 業 費	10,041		
租 税 公 課	22,914		
通信費・旅費交通費	14,127		
交際費・会議費	565		
事務用消耗品費	6,000		
減 価 償 却 費	14,997		
業 務 委 託 費	39,949		
工事引当金繰入額	442		
雑 費	25,874		
合 計	414,403		

監 査 報 告 書

私は、2019年4月1日から2020年3月31日までの第37期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に務めるとともに、経営会議その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2020年5月20日

JSRエンジニアリング株式会社

監査役 長谷川 亨

